

◆平成29年3月5日に開催されたバス巡検「水戸徳川家の歴史を訪ねて」にたくさんのご参加ありがとうございました

平成29年度も巡検・セミナーの開催を予定しております。

行事委員会では楽しく安全で、興味深い巡検・見学会を計画しておりますので、ぜひご参加下さい。

巡検やセミナーのご案内はICICニュースやホームページに掲載いたします。

## 展覧会情報

### ようこそ!横浜地図ワールドへ

—まちの移りかわりが見えてくる

期 間 4月22日～7月2日

会 場 横浜都市発展記念館(横浜市)

電 話 045-663-2424

### 横浜・地図にない場所～消えたものから見えてくる、ハマの近代

期 間 4月26日～7月17日

会 場 横浜開港資料館(横浜市)

電 話 045-201-2100

### 日本水準原点の施設公開

期 日 5月24日(雨天の場合5月25日)10時～16時

場 所 東京都千代田区永田町1-1-2憲政記念館構内  
標庫内にある日本水準原点(水晶目盛板)の公開

### 「くらしと測量・地図」展【平成29年度】

期 間 6月7日～6月9日(10時～19時)

会 場 新宿駅西口広場イベントコーナー(新宿区)

### 昭和横浜の構想図・完成予想図

—過去に描いたヨコハマの未来—

期 間 7月15日～9月10日

会 場 横浜市史資料室(横浜市)

電 話 045-251-3260

### 南蛮古地図企画展 絵画と地図で読み解く日欧交流

期 間 8月5日～9月24日

会 場 神戸市立博物館(神戸市)

電 話 078-391-0035

## mini地図NEWS

### ▶古地図をはじめとする個人所有の貴重データ100点超がネット公開

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)で、同館に寄託されている「守屋壽コレクション」(1154点)の

一部がネット公開された。同コレクションは、福山市出身で元メリルリンチ日本証券会長の守屋壽氏が収集した、国内外の古地図を中心とする近世の歴史資料。同博物館では、本年度中に同コレクションの中からさらに100点ほどを追加公開するとのこと。<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>下の“トピックス”から(山陽新聞ほか/4月18日)。



守屋壽コレクションで初めて確認された「松浦静山旧蔵日本全図(享保の日本図)」。山からの朱線が徳川吉宗の命で製作された享保の日本図の望視地点(203点)と一致する。測量図は縦152cm、横336cm、縮尺は1/216000

### ▶日本地図共販(株)が3月31日破産決定

2月10日、東京地裁に破産を申請し同日、保全管理命令を受けていた日本地図共販(株)は3月31日、東京地裁より破産開始決定を受けた。同社はピークとなる平成9年9月期は売上高109億9065万円をあげていたが、帳合変更や新刊点数の減少などから28年9月期の売上高は32億1010万円とピーク時の約3分の1まで落ち込み、6期連続の当期純損失を計上した。(東京商工リサーチほか/4月4日)

### ▶地理院の紙地図販売が激減 デジタルに押され20分の1

国土地理院が作成する地形図などの紙地図の販売が、2016年度は計47万2951枚と、記録のある1946年度以降の最低を更新、最高だった81年度の約910万枚の約20分の1まで激減したことが4月20日、販売を担当する日本地図センター(東京都目黒区)の調べで分かった。(上毛新聞ほか/4月20日)

### ▶「赤色立体地図」の最新版を4月1日からWebで!無料提供

アジア航測(株)は4月1日から、これまで有料で提供していた赤色立体地図の最新版を無料で提供した。「赤色立体地図」とは、傾斜量を赤色の彩度、尾根谷度を明度で表現し、地形の凹凸を判別しやすくした地図。提供するデータは「RRIM10\_2016」。国土地理院発行基盤地図情報10mメッシュを使っている。同社の使用許諾契約書への同意や個人使用に限るという条件を満たせば、誰でも日本全国の「赤色立体地図」をダウンロードできる。なお、大きなエリアを一度に見るようなときに適する「RRIM50」や都市部の地形も確認できる「RRIM5+(10m+5mハイブリッド)」は有料で購入できる。(excite.ニュース/4月14日)

### ▶オーストラリアの地図、犬と猫に見える話題

米ソーシャルサイトのredditで、「オーストラリアが似ているもの」が注目を集めました。redditユーザーのDstone66

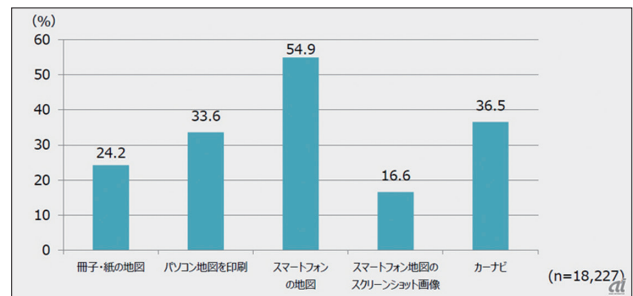


さんが投稿した「Well, now I can't look at it the same ever again(もう、二度と同じ視点で見ることはできないよ)」というタイトルの地図には、オーストラリアの地図のほぼ中心部に、南北に沿った線が引かれています。そしてその向かって右側(東半分)には「猫の頭部」、そして左側(西半分)には「犬の頭部」との説明文。タスマニア島は「キャットフード」の文字が(livedoor NEWS/4月10日)

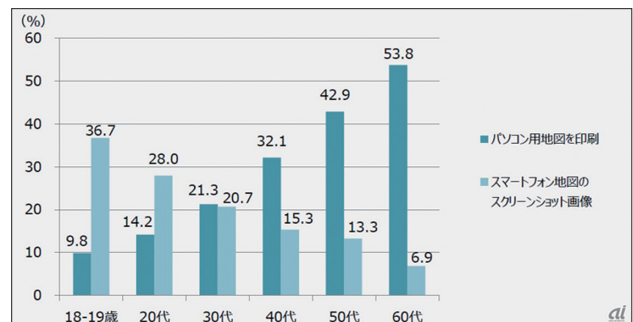
### ▶移動時の地図利用は若年層ほど印刷よりも“スマホのスクショ”ーゼンリンが調査

(株)ゼンリンは4月18日、アンケート調査「地図利用実態調査2017」の結果を公表した。対象は全国の18~69歳までの男女で、インターネットを通じての調査。同社のホームページからダウンロードできる。これによると1年以内に地図を利用したことがある人の割合は91.4%。商品・サービス別では、「パソコン用インターネット地図サービス」が62.7%、「スマートフォン用のインターネット地図」が48.4%、「カーナビ」が29.6%、「ガイドブックや地図帳などの紙地図」が23.1%。

移動するとき利用する地図については、「スマートフォンの地図」が最多で54.9%。また、「パソコン用地図を印刷」したものと「スマートフォン地図のスクリーンショット画像」をみると、年代別に傾向が分かっているという。30代を境に、18~19歳ならびに20代は「スクリーンショット画像」の方が高く、40代以上は「パソコン用地図を印刷」の方が高い結果となり、「スマートフォン地図の“スクショ”が、若年層に広がっているイマドキの使い方」とまとめている。(Cnet Japanほか/4月19日)



移動するとき使う地図はスマートフォン(スクショを含む71.5%)が紙地図(プリントを含む57.8%)より多い結果に。



参照するスマホの地図がピンやマイブレイスの利用ではなく、スクリーンショットというのは静的な地図という意味か。別の設問で「迷ったときにまず頼るもの」に「通りすがりの人に聞く」が男性18~19歳で4.0%、60~69歳で21.4%、女性で8~19歳で4.6%、60~69歳で35.5%という結果も。